

第2学年国語科学習指導案

日時 令和4年10月27日(木) 5校時
児童 男子4名 女子1名 計5名

1 単元名 読んで考えたことを話そう(教材「どうぶつ園のじゅうい」光村図書2年上)

2 単元の目標

〔知識及び技能〕	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア)
〔思考力、判断力、表現力等〕	◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつことができる。(C(1)オ) ◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(C(1)ア)
「学びに向かう力、人間性等」	○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

3 本単元における言語活動

説明的な文章を読んで、考えたことを話す。

4 単元について

(1) 児童について

- 1学期教材「たんぽぽのちえ」では、時間の順序で説明された文章を学習した。児童は、様子の変化が分かる言葉やわけを表す言葉を見付け、順序と合わせて考えることで、たんぽぽのちえを読み取ることができた。
- 国語の学習に意欲的に取り組んでいるが、内容の理解に時間のかかる子が数名いる。
- 読み聞かせを楽しそうに聞いていたり、自分から進んで本を読んだりしている。必読図書の取り組みにより、様々な本を読むようになってきている。

(2) 教材について

- 本教材は、「はじめ」話題提示—「中」獣医の仕事の内容—「おわり」という三つのまとまりの説明文の定型になっており、児童にとって捉えやすい構成になっている。
- 本教材は、その仕事内容が児童に理解しやすい「わたし」という視点で書かれている。また、「朝」「見回りの終わるころ」など時間の順序を明確に表す語句が段落の冒頭に示されている。さらに、事象と理由の関係も分かりやすく書かれており、児童が興味をもって読み進めていくことができる教材であると考えられる。

<単元のつながり>

	単元名	内 容
1年	どうぶつの赤ちゃん	順序やわけに気を付けて読む。
2年	たんぽぽのちえ	順序など情報と情報との関係について理解する。 時間的な順序を考えながら大体を捉える。
	じゅんじょ	順序に着目して、理解・表現する。
	馬のおもちゃの作り方	順序を捉えたり、文章と写真を対応させたりして

2年		読む。
	どうぶつ園のじゅうい	時間の順序に気を付けて読み、自分の考えをもつ。
	おにごっこ	話題や自分の知りたいことを明らかにして、大事な言葉や文を見付ける。
3年	ありの行列	段落のつながりに気を付けて読み、互いの共通点・相違点に注意しながら感想を伝え合う。

<参考図書>

- 「動物園のひみつ」 PHP 研究所
- 「めざせ！動物園のお医者さん」 講談社
- 「みんなわくわく水族館」 新日本出版社
- 「ラッコのひみつ」 新日本出版社
- 「どうぶつえんのおいしゃさん」 福音館書店
- 「どうぶつ園のじゅうい びょうきやけがをなおすしごと」 金の星社
- 「獣医さんだけが知っている 動物園のヒミツ 人気者のホンネ」 日東書院本社
- 「あひるのママはしちめんちょう」 PHP 研究所
- 「チンパンジーのチェリー」 PHP 研究所
- 「飼育員さんのこたえ」 ワニブックス
- 「イルカのジャンプに夢をのせて」 ポプラ社
- 「仕事のくふう」 食べものをつくる・売る仕事 ポプラ社
- 「仕事のくふう」 暮らしをべんりにする仕事 ポプラ社
- 「仕事のくふう」 たのしい暮らしをつくる仕事 ポプラ社
- 「仕事のくふう」 いのちをまもる仕事 ポプラ社
- 「仕事のくふう見つけたよ」 ものを作る・育てる 汐支社
- 「仕事のくふう見つけたよ」 お店ではたらく 汐支社
- 「仕事のくふう見つけたよ」 暮らしをささえる 汐支社
- 「仕事のくふう見つけたよ」 商店がいのお店の仕事 汐支社
- 「しごとば」 ブロンズ社
- 「続しごとば」 ブロンズ社
- 「続々しごとば」 ブロンズ社
- 「もっとしごとば」 ブロンズ社
- 「やっぱりしごとば」 ブロンズ社

(3) 指導にあたって

手だて1 「読書」を生かした単元づくり

- 仕事について書かれた本を読み、その内容を紹介する「おしごとしょうかいカード」を作成し、1年生に紹介する
- ・ 単元に入る前から様々な仕事について書かれた本を読んで、自分が紹介したい本を選んでおく。読書を通し、様々な仕事について、初めて知ったことや自分の経験と結び付けた感想を「おしごとしょうかいカード」という形で伝えるという言語活動を設定する。完成したカードを発表したり掲示したりすることで、同学級の1年生に紹介するという活動を単元のゴールとする。

手だて2 言葉による見方・考え方を働かせ、多面的に捉えさせる工夫

- 獣医の仕事の内容を捉え、自分の知っている知識とつなげて考えさせる
 - ・ 時間の順序が分かる言葉を問う発問をすることで、1日の仕事の流れを捉えることができるようにする。
 - ・ 獣医の行う仕事のわけや工夫を表す言葉に着目し、サイドラインを引いて考える活動を設定することで、時間的な順序を考えながら内容の大体を捉えることができるようにする。
 - ・ 本を読んで得た知識と本時の学びを比べるという視点を与えることで、仕事に対する考えを深めたり、感想をもったりすることができるようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(C(2)ア)	① 「読むこと」において文章の内容と自分の経験を結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ② 「読むこと」において時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア)	① 積極的に、文章の内容と自分の経験を結び付けて、感想をもち、今までの学習を想起して、考えたことを話そうとしている。

6 単元の指導計画及び評価計画 (全11時間)

次	時	学 習 活 動	指導上の留意点	主な評価規準
第1次	1	○単元のゴールが「おしごとしょうかいカード」を使い1年生に紹介することであることを知る。 ○初めの感想を書く。	○見本となるカードを作成しておく。(手1) カードの内容がどのような要素になっているのか捉えさせる。	【主】 動物園の獣医について書かれた文章を、興味をもって読もうとしているか確かめる。[観察・記述]
	2	○全文を読み、時間ごとの大体の内容を捉える。	○いつ、どんなことをしたのか、時間の順序を表す言葉や接続語に着目させ表①にまとめさせる。(手2) ○獣医の仕事のわけと工夫を表②に書かせる。	【知】 いつ、どんな仕事をしているか情報と情報との関係について、理解しているか確かめる。[発言・記述]
第2次	3	○「朝」の獣医の仕事についてわけや工夫を見付け、考えてことや気付いたことを話す。	○わけと工夫を読み取る視点として写真と文を結び付けて考えさせる。(手2) ○仕事のわけと工夫を自分の知っていることと比べさせることで、考えを深めさせていく。(手2)	【思C】 時間の順序を追って読み取り、獣医の仕事のわけや工夫を捉えているか確かめる。[発言・記述]
	4	○「見回りの終わるころ」の獣医の仕事についてわけや工夫を見付け、考えたことや気付いたことを話す。		
	5 【本時】	○「昼前」の獣医の仕事についてわけや工夫を見付け、考えたことや気付いたことを話す。	○自分の経験と結び付けて、初めて知って驚いたこと、考えたことなど感想を書かせる。(手2)	【思C】 初めて知って驚いたことや考えたことなど、自分の感じたことを、経験と結び付けて書いているか確かめる。[記述・発言]
	6	○「昼過ぎ」の獣医の仕事についてわけや工夫を見付け、考えたことや気付いたことを話す。		

	7	○「夕方」の獣医の仕事についてわけや工夫を見付け、考えたことや気付いたことを話す。		
	8	○一日の終わりと出る前の仕事について、わけや工夫を見付け、考えたことや気付いたことを話す。	○興味をもった言葉や、文を用いて感想を書いて、交流させる。(手2)	
	9	○一日の仕事をまとめる。	○時間、動物、仕事、工夫の観点を表にまとめ、全体で確かめる。	【思C】時間の順序を追って読み取り、獣医の仕事のわけや工夫を捉えているか確かめる。[発言・記述]
第3次	10	○仕事の本を読み、分かったことや感想を「おしごとしようかいカード」に書く。	○カードの内容を要素に沿ってまとめさせる。(手1) ・仕事 ・時間 ・工夫とわけ ・思ったこと	【思C】初めて知って驚いたことや考えたことなど、自分の感じたことを、経験と結び付けて書いているか確かめる。[記述・発言]
	11	○1年生に紹介する ○単元の振り返りをする。	○「おしごとしようかいカード」を見せながら感想を伝える。 ○「振り返り」で単元の学びを振り返えらせる。	【主】友だちの考えと自分の考えを比べながら、今までの学習を想起して、考えたことを話そうとしているか確かめる。[発言]

7 本時の指導

(1) 目標 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	主な発問と指示 (○) 予想される児童の反応 (■)	指導上の留意点 (※) 評価 (◎)
導入 5分	1 学習課題をつかむ。	○今日は、いつの仕事について勉強しますか。 ■昼前です。 ○獣医さんのどんな仕事ですか。 ■さるにくすりをのませるしごとです。	※本時の学習が、獣医さんの昼前の仕事であることを確かめる。
	2 課題解決の見通しをもつ。	○何に気を付けて読みますか。 ■しごとのわけやくふうです。 ○どうやって見付けますか。 ■わけやりゆうをあらわすことばを見つけてます。 ■くふうは、うまくいったことを見つけてます。	※本時のゴールであるまとめは、自分の経験と比べて感想をもつことを確認しておく。 ※読みの視点を与える。
展開	3 学習場面を音読する。	○一人でサイドラインを引いた後、みんなで確かめていきます。	

さるにくすりをのませるしごとのわけやくふうを見つけて、考えたことや気付いたことを話そう。

30分	4 一人学びをする。	○工夫が書いてある文にサイドラインを引きましょう。(わけ:傍線、くふう:波線)	※グループで伝え合う中で、自分の考えを再度確かめたり、深めたりすることができるように声がけをする。 ※グループでの交流を生かして全体で確かめる。 ※写真と文を結び付けて考えさせる。(手2)
	5 グループで交流する。	○グループで、線を引いたところを確かめましょう。 ■りゆうをあらわすことばがないよ。 ■「しいくいんさんがこまっていました」ということばがあるよ。	
30分	6 全体で考える。	○仕事のわけは何ですか。 ■けがをしたさるがくすりをのまなかったから。 ■しいくいんさんがこまっていたから。 ○薬の飲ませるための工夫を発表しましょう。 ■えさに入れます。 ■こなにして、バナナにまぜます。 ■はちみつにまぜます。	◎時間の順序を追って読み取り、獣医の仕事のわけや工夫を捉えている。[記述・発言]
	7 昼間の仕事について、考えたことや気付いたことを話す。	○今日の学習で考えたことや気付いたことは、何ですか。感想をワークシートに書きましょう。 ■じゅういさんが、くすりをバナナやはちみつにまぜてくふうをしていてびっくりしました。 ■水ぞく館の本でも、しいくいんさんがくふうしていました。	
<p>⑤ 考えたことや気づいたこと</p> <p>○○ じゅういさんが、バナナやはちみつにまぜてくふうしていて、びっくりしました。</p> <p>△△ 水ぞく館のしいくいんさんも工夫していました。</p>			
終末10分	8 学習の振り返りをする。	○今日の学習を振り返りましょう。 ■サイドラインを引いたところをたしかめたら、わかりました。 ■しゃしんがあったから、わかりました。 ■Aくんのしいくいんさんがこまっていました。」のことばを見つけたのが、なるほどと思いました。	※振り返りの視点を与える。 ※次時は、「昼過ぎ」の獣医さんの仕事について、わけや工夫を見付けることを伝える。

(3) 具体的評価規準

具体的な子供の姿 (B)	支援を要する児童への手立て
時間の順序を追って読み取り、獣医の仕事のわけや工夫を捉えている	文章の内容と自分の経験を想起できるよう助言をする。

十月二十七日

ぶつ園のじゅうい

④ さるにくすりをのませるしごとの、わけやくふうを見つけて、考えたことを話そう。

くすりをのませるしごと

わけ しいくいんさんが、こまっていた。

さるがくすりをのまなかった。

くふう

よさ

写真

① えさにいれる。

見えないようにした。

写真

② こなにしてバナナにまぜる。

形に気づかせないようにした。

写真

③ はちみつにまぜる。

にがさをかんじさせない。
あまさでわからなくした。

⑤ 考えたことや気づいたこと

○○○・じゅういさんがくすりをバナナやはちみつにまぜてく

ふうをしていて、びっくりしました。

◇◇◇・水ぞく館のしいくいんさんもくふうをしていて、同じ
だと思いました。

ふりかえり